



国際交流のひろば

vol.20

皆さん、はじめまして。ブラジル出身の国際交流員のカミーラ・イキエネです。

来日する前は、リオデジャネイロ市に6か月ぐらい住んでいました。リオデジャネイロ市から車で1時間ほど離れたところにある「ニロポリス市」という町の生まれ育ちです。

もし、リオのカーニバルに興味があるなら、ニロポリスの「BEIJA FLOR」というサンバ学校について聞いたことがあるかもしれません。この学校は、カーニバルコンテストで何回も優勝したので、ニロポリス市は有名なおところになりました。市民のみなさんはサンバにとっても熱心だと思います。



こんにちは!

国際交流員のカミーラです。

4月10日に着任しました。よろしくお願いします。



私は日系人ではありませんが、子供のころから日本のことに興味があって、日本語と日本文化を勉強してきました。日本のアニメと漫画がとても好きでしたから、14歳のころ、日本語の講座に通い、リオデジャネイロ連邦大学文学部日本語科に入学しました。大学で、日本語とポルトガル語、日本とブラジル両方と関係がある話題についてたくさん勉強しましたが、その知識を役立てる機会はあまりありませんでした。なので、国際交流員としてブラジル社会と日本社会の役に立てるのはうれしいです。

出雲市の日本人とブラジル人の住民のかけ橋となる仕事をしたいと思います。一生懸命頑張ります。これからよろしくお願いします。

国際交流員は、国際理解教育の場などに積極的に参加し、地域の国際化のために活動しています。
おたずね/国際交流室 ☎21-6576



山陰
まんなか
共和国

中海・宍道湖・大山圏域市長会

中海・宍道湖・大山圏域市長会 通信

中海・宍道湖・大山圏域市長会は、中海と宍道湖沿岸の5市(出雲市、松江市、安来市、米子市、境港市)で構成しています。5市が連携して取り組むことで実現が可能になる事業や、より大きな効果が期待される事業に一体となって取り組んでいます。

市長会が掲げる
4つの基本方針

- ① 活力あふれる圏域づくり(産業振興)
- ② 訪ねてみたい圏域づくり(観光振興)
- ③ 住みたくなる圏域づくり(環境の充実)
- ④ とともに歩む圏域づくり(連携と協働)

平成29年度

市長会が取り組む主な事業

活力あふれる圏域づくり(産業振興)

『産学・医工連携支援事業』

レベルの高い総合病院や優れた技術を持つ企業が集積するこの圏域で、医療機関側が求めるものと企業が持つ技術とのマッチングを行い、新たな医療器具などの開発や販売を支援します。雇用創出や定住促進など圏域の産業振興に大きな期待が持てる事業です。

訪ねてみたい圏域づくり(観光振興)

『中海・宍道湖・大山圏域DMO(観光推進機構)』の設立

圏域の観光振興の舵取り役として圏域DMOを設立し、外国人観光客の誘致のための受入体制の整備や国内外向けの観光プロモーションにより「山陰まんなか共和国」をPRし、圏域への観光誘客を推進します。

おたずね/政策企画課 ☎21-6612

